

2019は沖縄の図書を中心に集め、その一部をリスト化しました。
以下の図書は狛江市立中央図書館から団体貸出で借用しました。ご協力ありがとうございました。

I 沖縄のガイド・入門

II 沖縄戦

①事典、戦跡ガイド、写真・図、絵 ②沖縄戦の実相 ③ひめゆり学徒隊 ④集団自決(強制された集団死)
⑤戦争マラリア事件 ⑥戦争と住民(民衆) ⑦戦場の子どもたちのその後

III 沖縄はいま…

①ガイド・写真 ②沖縄の戦後 ③基地・日米安保 ④辺野古新基地建設(普天間移設)

IV 沖縄の暮らし・文化

①ガイド・絵 ②全般 ③食文化 ④音楽・唄 ⑤美術・工芸 ⑥民話・昔話

※各ジャンルの中は原則として書名順

※ラベル番号の末尾の略号;(岩)は岩戸、(野)は野川各地域センター図書室、(西)は西河原公民館図書室、

タイトル	著者(編者のみ編)	出版者	出版ラベル番号
I 沖縄のガイド・入門; 沖縄戦、基地、沖縄の自然、琉球・沖縄の歴史、文化などを紹介 修学旅行のための沖縄案内	大城 将保	高文研	2006 291オ(野)
新・沖縄修学旅行	梅田 正己	高文研	2013 291シ(岩)
II 沖縄戦; 太平洋戦争で日本唯一の地上戦。住民の4人に1人が犠牲に。 ①事典、戦跡ガイド、写真・図、絵 沖縄戦を知る事典 非体験世代が語り継ぐ 戦闘経過、「集団自決」の実態など67項目を収録した読む事典。写真も豊富	吉浜 忍編	吉川弘文館	2019 219オ
沖縄戦跡・慰霊碑を巡る 県内各地の塔(碑)やゆかりのある人物を紹介	三萩 祥	明成社	2014 291ミ
沖縄の戦争遺跡 <記憶>を未来につなげる 司令部壕、砲台、住民避難壕(ガマ)、収容所等を紹介。写真も多く、わかりやすい。	吉浜 忍	吉川弘文館	2017 219ヨ
写真記録沖縄戦 決定版	大田 昌秀	高文研	2014 219シ
図説沖縄の戦い ふくろうの本	森山 康平	河出書房新社	2003 219モ
沖縄戦の絵 地上戦命の記録 戦後60年に際し、NHKと沖縄県が「沖縄戦の絵」を募集。体験者が描いたもので、生々しさが伝わってくる。	NHK沖縄放送局編	日本放送出版協会	2006 219オ
②沖縄戦の実相 定本沖縄戦 地上戦の実相 戦闘の経過を追いながら、「集団自決」と「日本軍の住民虐殺」の実態を明らかにする。	柏木 俊道	彩流社	2012 219カ
慰安婦たちの太平洋戦争 沖縄篇 闇に葬られた女たちの戦記	山田 盟子	光文社	1992 916ヤ3
追跡・沖縄の枯れ葉剤 埋もれた戦争犯罪を掘り起こす J・ミッチェル ベトナム戦で散布された枯れ葉剤は沖縄戦でも使われていた?!	高文研	高文研	2014 223ミ
特攻に殉ず 地方気象台の沖縄戦 特攻作戦を正確な気象情報提供で支えた気象台職員。職に殉じた男たちを丹念な取材で描く。	田村 洋三	中央公論新社	2001 219タ
僕は少年ゲリラ兵だった 陸軍中野学校が作った沖縄秘密部隊 NHKスペシャル取材班 新潮 極秘編成された少年遊撃部隊の実像と設立に関わった中野学校が画策していた「1億総特攻化」の全貌を描く	新潮	新潮	2016 219ホ
③ひめゆり学徒隊 ひめゆりの少女 十六歳の戦場 野戦病院で傷病兵の看護にあたった女学生だけの学徒隊の生存者が当時のメモをもとに作成した手記。	宮城 喜久子	高校生文化研究会	1995 916ミ
ひめゆりの塔 学徒隊長の手記 3版 ひめゆり学徒と生死を共にした隊長の愛と苦悩と悔恨の記録	西平 英夫	雄山閣	2015 916ニシ

④「集団自決」(強制された集団死)

- 沖繩戦「集団自決」を生きる 渡嘉敷島、座間味島の証言 森住 卓 写真・文 高文研 2009 219モ
- 沖繩戦の真実と歪曲 大城 将保 高文研 2007 219オ
「集団自決」を巡る教科書検定での歪曲と体験者の怒りの声を集めた。
- 記録・沖繩「集団自決」裁判 岩波書店編 岩波書店 2012 219キ
大江健三郎と岩波書店が被告となった裁判—住民の集団死を「殉国」美談とするか否か—の記録(被告勝訴)
- 証言沖繩戦の日本兵 60年の沈黙を超えて 國森 康弘 岩波書店 2008 219ク
日本軍は「集団自決」にどう関わったのか、中国での日本兵の経験の影響は？元兵士たちから取材したルポ
- 僕の島は戦場だった 封印された沖繩戦の記憶 佐野真一 集英社インターナショナル 2013 219サ
「英霊」か孤児か、童たちが語る僕の村は戦場だった、「僕は母親を石で殺した」童たちが語った「集団自決」の真実、雑誌に掲載したものに大幅加筆した。

⑤戦争マラリア事件

- 日本軍と戦争マラリア 沖繩戦の記憶 宮良 作(狛江ゆかりの作者) 新日本出版社 2004 219ミ
軍が波照間島の全島民を強制疎開、山谷に追われた住民はマラリアで4,000人が犠牲に。戦争犯罪を告発。

⑥戦争と住民(民衆)

- 沖繩戦が問うもの 林 博史 大月書店 2010 219ハ
集団自決や住民動員のあり方など33の論点から検証
- 沖繩戦と民衆 林 博史 大月書店 2001 219ハ
ひめゆり学徒、皇国化教育、集団自決…民衆にとっての沖繩戦とは？

⑦戦場の子どもたちのその後

- 戦場の童(わらび) 沖繩戦の孤児たち 謝花 直美 沖繩タイムス社 2005 916シ
沖繩戦で親を失った子どもたちが戦後をどのように生き抜いたかを描く
- 沖繩戦を生きた子どもたち 大田 昌秀 クリエイティブ21 2007 219オ
戦場での体験談と苦難の戦後をどう生きてきたかを紹介。

Ⅲ 沖繩はいま…

①ガイド・写真

- 知る沖繩 豊富な写真・図解ですぐに丸わかり 木村 司 朝日新聞出版 2015 395キ
日米地位協定、基地と経済、普天間移設の経緯など沖繩と基地の基礎知識を解説。沖繩戦、沖繩の戦後、これからも説明。写真や図が多くわかりやすい。

- 沖繩の戦跡と軍事基地 美ら海・美ら島・命どう宝 新版同編集委員会編 かりゆし出版企画 2007 291オ

- フォト・ストーリー沖繩の70年 石川 文洋 岩波書店 2016 シンヨ219イ
沖繩出身のカメラマンによる沖繩70年の歴史。戦争と基地を軸に描く。

②沖繩の戦後

- アートで平和をつくる 沖繩・佐喜真美術館の軌跡 佐喜真 道夫 岩波書店 2014 706サ
普天間基地の間近に建つ美術館。最大のコレクションは「沖繩戦の図」。歩みを通してアートの持つ力を見つめる。

- 沖繩現代史 新版 新崎 盛暉 岩波書店 2005 219ア(岩)
減らない基地、実らない経済振興、日米同盟の強化と沖繩の現実は厳しい。米軍再編協議の最新状況まで説明

- 沖繩現代史 米国統治、本土復帰から「オール沖繩」まで 櫻澤 誠 中央公論新社 2015 シンヨ219サ
なぜ本土と、歴史、基地、経済への認識が異なるのか、政治・経済・文化から多面的に描く。

- 沖繩戦後民衆史 ガマから辺野古まで 森 宣雄 岩波書店 2016 219モ
米軍占領と軍政、復帰後も変わらない基地負担や米兵の犯罪…自力で民主主義を勝ち取ってきた沖繩戦後史。無数の声を通して生き生きと描く。

- 国策のまちおこし 基地の島沖繩 嘉手納からの報告 渡辺 豪 凱風社 2009 395ワ
「補償型政治」という国策を逆手にとって「安保のまち」の再生に取り組んだ首長の奮闘記。沖繩の将来像

自立、自律の道を模索したノンフィクション。

琉球独立宣言 実現可能な五つの方法 松島 泰勝 講談社 2015 V312マ
戦後70年基地の7割以上が沖縄に集中。もはや独立しかない。現状と歴史をふまえ実現可能な独立の方法は？

③基地、日米安保

抗う島のシュプレヒコール OKINAWAのフェンスから 山城 博明 岩波書店 2015 219ヤ
基地に蹂躪される沖縄。“本土並み”とは何か。豊富な写真とともに迫る。

沖縄と日米安保 問題の核心とは何か 塩川 喜信編 社会評論社 2010 319オ(野)

沖縄と米軍基地 前泊 博盛 角川書店 2011 395マ
外交密約や米軍再編を分析して基地の必要性を再考。国防・外交の真実をあぶり出す。

沖縄の海兵隊はグアムへ行く 米軍のグアム統合計画 吉田 健正 高文研 2010 392ヨ

沖縄の基地の間違ったうわさ 検証34個の疑問 佐藤 学編 岩波書店 2017 395オ
基地がないと経済は成り立たない、辺野古は世界一危険な普天間の代わり…、基地問題についてのウソを事実と数字で解明。

沖縄問題 リアリズムの視点から 高良 倉吉編著 中央公論新社 2017 シンヨ312タ
県行政での経済振興と基地問題という2大課題への取組を追う。

基地の島・沖縄からの問い 日米同盟の現在とこれから 新崎 盛暉 創史社 2007 395ア
事件・事故の連続で危険と隣り合わせ、地位協定で立ちはだかる米軍と政府、米軍再編特措法は「アメとムチ」、沖縄の状況からヤマトに問う。

基地はなぜ沖縄に集中しているのか NHK取材班著 NHK出版 2011 395キ
海兵隊や沖縄住民、基地集中の歴史に携わった日本政府関係者からの生の声をもとに基地問題を考える。

「軍事植民地」沖縄 日本本土との<温度差>の正体 吉田 健正 高文研 2007 395ヨ
戦後60余年、住民を切り捨て、復帰後もその願い・要求をそらし、いまなおアメとムチの使い分けで植民地状態を保持しようとするこの国の政治に対する異議申し立て。

誤解だらけの沖縄・米軍基地 屋良 朝博 旬報社 2012 395ヤ
強行されたオスプレイ配備、高まる怒りの声。基地はなぜ沖縄なのか基地問題の打開策をベテラン記者が提起

米軍基地の現場から 普天間 厚木… 沖縄タイムス社他合同企画「安保改定50年取材班著 2011 395へ
安保の功罪が住民に直結している「基地の街」、半世紀の間に起きたこと、課題は…沖縄・長崎・神奈川の地方紙3社の連携記事を大幅加筆。

④辺野古新基地建設(普天間移設)

沖縄と本土 いま立止まって考える辺野古移設・日米安保・民主主義 翁長雄志 朝日新聞出版 2015 395オ

暮らして見た普天間 米軍基地問題を考える 植村 秀樹 吉田書店 2015 395ウ
2013年9月から半年間宜野湾市で暮らした著者が見聞きし、体験したことを中心に、基地をめぐる問題と沖縄自身が抱える問題について考える

ジュゴンに会った日 沖縄辺野古・大浦の豊かな海から 今泉 真也写真・文 高文研 2019 468イ
ジュゴンは沖縄が北限。海の生きものたちのかけがえのない姿と素晴らしさをカラー写真で伝える。

日本にとって沖縄とは何か 新崎 盛暉 岩波書店 2016 シンヨ219ア
辺野古新基地建設問題は日米沖縄関係史の70年の総括点であり、また今後を考える起点でもあると説く。

普天間基地問題から何が見えてきたか 宮本 憲一編 岩波書店 2010 395フ
「沖縄の問題」ではない、「本土の問題」であり、「日米安保問題」だと、沖縄・本土の識者の声明は訴える。

辺野古に基地はつくれぬ 山城 博明 岩波書店 2018 395ヤ
埋立て予定地は軟弱地盤で、底には活断層が…工事の面から新基地建設事業の現状と問題点を検討する。

私たちの教室からは米軍基地が見えます 普天間第二小学校文集「そてつ」からのメッセージ
渡辺 豪 ボーダーインク 2011 395ワ
基地のある普天間二小文集中の小学生のメッセージと作者のその後を追ったルポ。

IV 沖縄のくらし・文化

①ガイド・絵

沖縄 芸能と音楽・ウチナーの歌・自然と風土・人と暮らし・歴史・戦争・基地 音楽之友社 1999 291オ
戦争や基地等の歴史、食物や歌、自然と風土等の解説を通し、沖縄の文化を支えてきたものは何か見つめる。

ニッポンを解剖する！沖縄図鑑 JTBパブリッシング 2017 291ニ
やんばるの森といった自然、琉球ガラス、宮廷料理等の文化、沖縄美ら海水族館などのスポット、祭りも紹介。

沖縄絵本 戸井 昌造 平凡社 2000 291ト
沖縄を愛した画家による沖縄の画文集。本島や離島をくまなく訪ね、歴史や風土を描く。

②全般

癒しの島、沖縄の真実 野里 洋 ソフトバンククリエイティブ 2007 302ノ
沖縄の歴史、伝統、文化、政治を長年見てきた新聞記者が沖縄のもつソフトパワーの素晴らしさ、可能性を語る

沖縄生活誌 高良 勉 岩波書店 2005 382タ
沖縄の生活を歳時記風に紹介したエッセー集。

東シナ海文化圏 東の<地中海>の民俗世界 野村 伸一 講談社 2012 382ノ
海を渡り、交易し、時には海賊にも。沖縄は中国、朝鮮、台湾と共に同じ東の地中海＝東シナ海をめぐる地域に属し、多くの民俗現象から共通の文化を持っていたと説く。

③食文化

「沖縄シマ豆腐」物語 林 真司 潮出版社 2014 383ハ
伝統食材の「沖縄シマ豆腐」。アジアとのつながりが見えてくる。

沖縄の神と食の文化 赤嶺 政信監修 青春出版社 2003 382オ
泡盛、チャンプルー、琉球舞踊・沖縄が歩んできた歴史、その中で生きてきた人々の生活文化の魅力を紹介

④音楽・唄

沖縄音楽入門 金城 厚 音楽之友社 2006 388カ
唄と踊りの島沖縄。琉球王朝の伝統を今に伝える古典音楽から島々の唄まで紹介するガイド。

唄に聴く沖縄 松村 洋 白水社 2002 762マ
独自の文化をはぐくんだ南の島々の唄。生きるための道具であり、強靱な力を持っていた島唄を紹介する。

⑤美術・工芸

すぐわかる沖縄の美術 宮城 篤正監修 東京美術 2007 702ス
国際色ゆたかでユニークな文化をもつ沖縄美術のビジュアルガイド。工芸王国沖縄の美術品を豊富に紹介。

図説琉球の染めと織り 児玉 絵里子 河出書房新社 2005 753コ(岩)
華麗な色と模様の紅型(びんがた)、首里織、琉球絣など独特の風合いを見せる沖縄の伝統織物を紹介する。

⑥民話・昔話

21世紀に残したい沖縄の民話21話 あなたが選んだ 遠藤 庄治文 琉球新報社 2000 ムカ388エ
県民に選ばれた次代に伝えたい沖縄の民話を集めた;「カニの恩返し」(1位)、「クスケーの由来」など21話

現代民話考 2-1 銃後 思想弾圧・空襲・原爆・沖縄戦・引揚げ 松谷 みよ子 立風書房 1987 388マ6